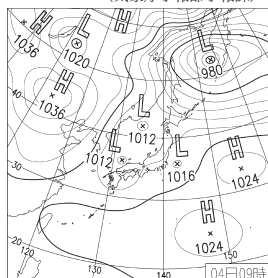


日々の天気図

— No. 133

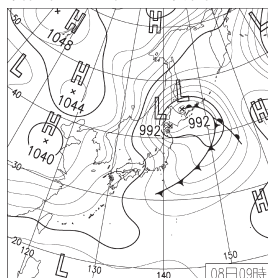
2013年 2月

- ・今冬（12～2月）は、北・東日本では2年連続、西日本では3年連続の寒冬となる。
- ・20日～26日、強い寒気の影響で北日本の日本海側には所々で記録的な積雪となり、26日には青森県八戸で歴代1位の566cmに達する。
（気象庁予報部予報課）



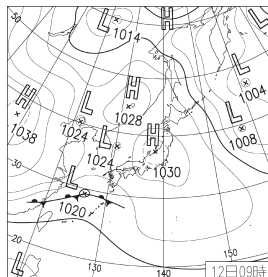
4日（月）九州南部で春一番

低気圧が日本海を進み、西日本から次第に雨となる。北海道は気圧の谷の影響で雪。沖縄・奄美は晴れや曇り。九州南部・奄美地方で春一番。高松市と銚子市でウメ開花。



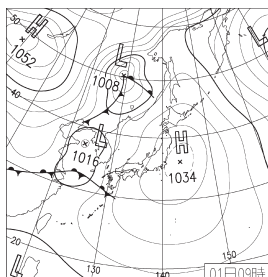
8日（金）日本海北部大しけ

低気圧の影響で、本州の日本海側は雪で海上は大しけ。太平洋側は晴れ。低気圧通過後冬型の気圧配置に移行。北海道羅臼で最大瞬間風速32.8m/s。北海道東部は最低気温高く3月並。



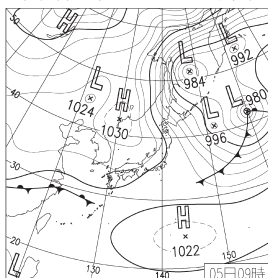
12日（火）全国的に気温低い

移動性高気圧が本州を通過し低気圧が西日本に接近。西日本の雨や雪が夜には東北まで広がる。最低・最高気温とも平年より低い所が多く、北海道枝幸町歌で最低気温-29.9℃。



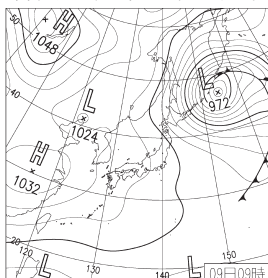
1日（金）暖かい南風

低気圧と前線の東進に伴い西～東日本で雨。長崎県五島市木場町の日降水量106mmは2月の記録を更新。鳥取県大山町塩津で最大瞬間風速24m/s。宮古島でヒカンザクラ満開。



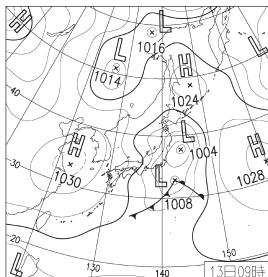
5日（火）西日本から天気崩れる

晴れていた本州太平洋側も次第に曇り、午前中に九州で降り始めた雨は西日本全体に広がる。各地の最低気温は平年より高くなったが、日中の最高気温は北日本で平年より低め。



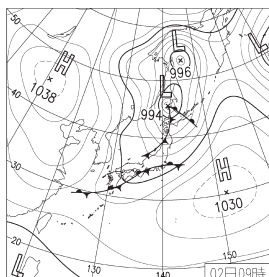
9日（土）冬型の気圧配置持続

日本付近は強い冬型の気圧配置で、北日本では暴風の所も。北海道羅臼では最大瞬間風速31.2m/s。北海道内の最低気温は3月並の地点が多い。福島県・茨城県で震度4。



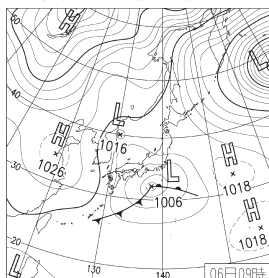
13日（水）関東南部でも降雪

伊豆諸島を低気圧が東進、日本海側と関東以北の太平洋側は雪や雨。埼玉県秩父5cmの降雪。東京都神津島空港で最大瞬間風速27.8m/s。奈良市等ヒバリ初鳴。宮城県で震度4。



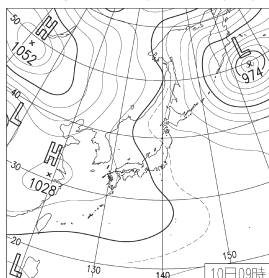
2日（土）南風で気温上昇

低気圧に南風が吹き込み全国的に3～4月並に気温上昇。高知県室戸岬で最大風速22.4m/s。北海道湧別では最高気温が平年より14.7℃高い11℃。北海道で震度5強。



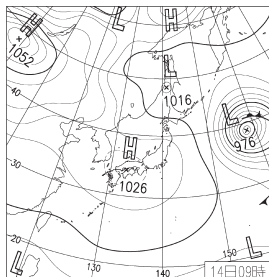
6日（水）南太平洋でMw7.9

低気圧が東進し西～東日本は太平洋側で雨。日本海側は雪。北日本は日本海側・太平洋側共に雪。南太平洋サンタクルーズ諸島のMw7.9の地震により日本でも太平洋側で津波観測。



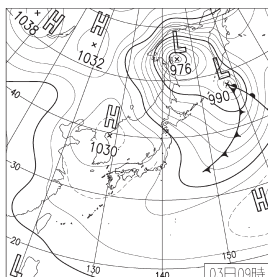
10日（日）弱い冬型の気圧配置

本州付近は弱い冬型で北陸～北海道日本海側では雪や曇り。その他太平洋側では概ね晴れ。沖縄本島や奄美では曇り。朝の最低気温は全国的に平年より低く756地点で冬日。



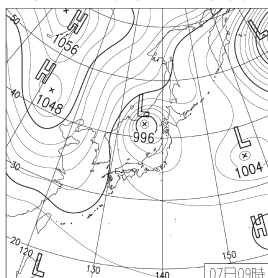
14日（木）西、東日本晴れ間広がる

移動性高気圧が本州を通過し西～東日本は晴れや曇り。夜遅くに九州で雨。北日本太平洋側は晴れたが日本海側は雪。佐賀市でウグイス初鳴。和歌山市でウメ開花。



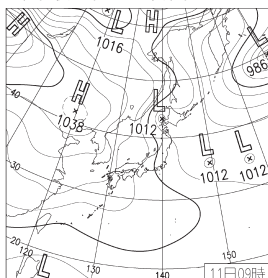
3日（日）暖かい朝続く

北日本は冬型の気圧配置。栃木県日光中禅寺湖畔で最大瞬間風速31.3m/s。最低気温は近畿～関東・北海道で3～4月並が多い。北日本中心に冬日224地点。東京でウメ開花。



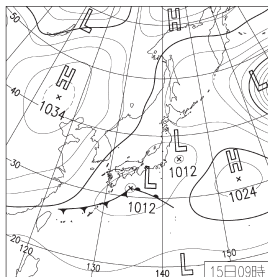
7日（木）北陸で春一番

日本海を低気圧が北東進し、北日本の日本海側で雪。低気圧に吹き込む南寄りの風で北陸地方に春一番。新潟県佐渡市両津で最大瞬間風速30.5m/s。横浜市でウメ開花。



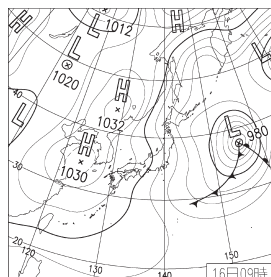
11日（月）日本海側で大雪

冬型の気圧配置が強まり、北陸を中心に日本海側で大雪。新潟県津南で日降雪量85cm。日本海側だけでなく太平洋側も風が強く、栃木県那須大島で最大瞬間風速28.7m/s。



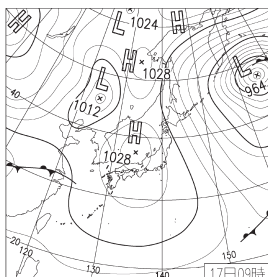
15日（金）ロシアで隕石落下

南岸低気圧の東進に伴い、西日本から北日本まで雨雲広がる。日本海側や甲信の一部などで雪。夜は冬型の気圧配置になり日本海側で雪。福岡市や鹿児島市でツバキ開花。



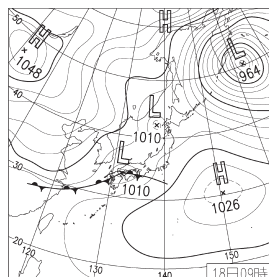
16日(土)風強く気温上がらず

冬型の気圧配置が強まり日本海側で雪、東～北日本の沿岸部は風が強く、千葉市中央区で最大瞬間風速24.3 m/sを観測。最高気温は全国的に低く、352地点で真冬日。



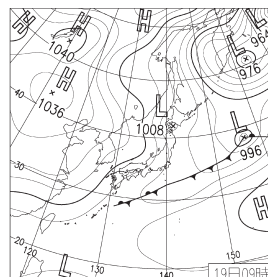
17日(日)寒さ続く

高気圧に覆われて太平洋側では概ね晴れ、北日本の日本海側は雪。全国799地点で冬日。本州付近は内陸を中心に厳しい寒さが続き、長野県松本空港では最低気温-17.9℃。



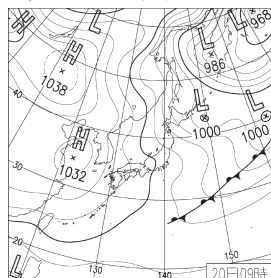
18日(月)西～北日本は雨や雪

本州付近を低気圧が東進、西日本では冬型の気圧配置に移行。西～北日本は雨や雪、沖縄・奄美は概ね晴れ。高知県室戸岬で最大瞬間風速27.6 m/s。福井市でツバキ開花。



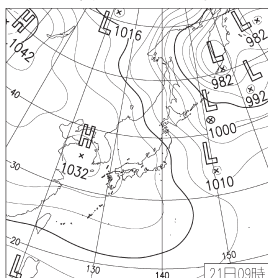
19日(火)西、東日本太平洋側で雪

南岸に前線が停滞し西日本～東日本太平洋側の広い範囲で雪。北海道は低気圧の影響で一部で暴風雪。高知県国見山で平年より44日遅い初冠雪。山梨県河口湖で4 cmの積雪。



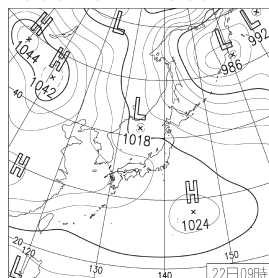
20日(水)全国的に低温

西高東低の気圧配置となり、気温は全国的に低く、太平洋側では概ね晴れ。北海道西部は風雪が強く、北海道石狩市浜益で最大瞬間風速27.5 m/s。大阪市でツバキ開花。



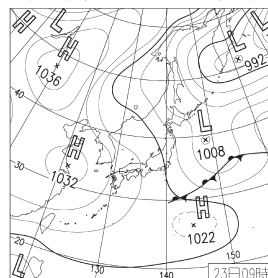
21日(木)酸ケ湯で積雪515 cm

強い寒気により日本海側は降雪が続く。青森県・北海道は全ての地点で2日連続の真冬日。青森市酸ケ湯では積雪515 cmと現在観測を行っている地点の最深記録を更新。



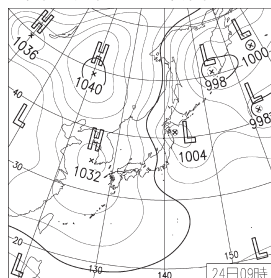
22日(金)北日本は冬型継続

北日本日本海側では気圧の谷の影響で風雪強まる。新潟県佐渡市弾崎で最大瞬間風速32 m/s。本州付近は全般に曇りや晴れ。南シナ海で台風第2号が発生、夜には熱帯低気圧へ。



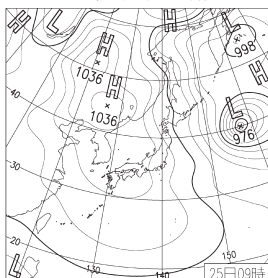
23日(土)日本海側の降雪持続

北日本は冬型の気圧配置、西日本は高気圧の圏内。日本海側は雪や雨だが太平洋側は概ね晴れ。山形県小国で最大瞬間風速32.8 m/s。津市と前橋市でウメ開花。



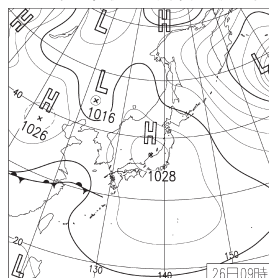
24日(日)北日本 今冬一番の寒気

低気圧が北日本を通過し、風雪強まる。北陸・近畿・山陰でも雪。その他は概ね晴れ。札幌の上空約5000 mの気温-46.7℃は2月の歴代6位。357地点で真冬日を観測。



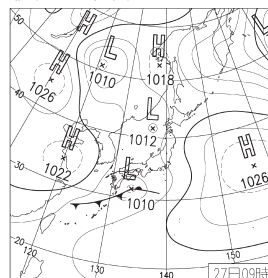
25日(月)北日本で記録的な積雪

東～北日本は冬型の気圧配置が続く。北海道長万部と東北の計8地点で最深積雪の観測史上1位を更新。青森県弘前では最深積雪153 cmを観測。栃木県で震度5強。



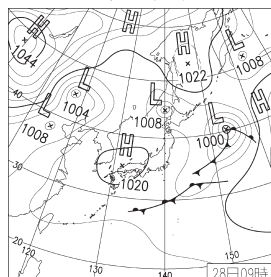
26日(火)酸ケ湯 最深積雪566 cm

冬型の気圧配置は次第に緩んだが、北日本日本海側でははじめ曇りや雪。青森市酸ケ湯の最深積雪、歴代1位の566 cm。南岸の前線が西から接近して、九州から次第に雨。



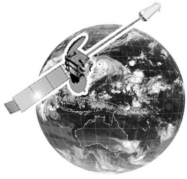
27日(水)太平洋側を中心に雨

低気圧が本州南岸を東進し、西～東日本太平洋側を中心に雨。標高の高い所は雪。天気が回復した西日本を中心に気温上昇。鹿児島市東郷元町の最高気温は20.7℃で4月上旬並。



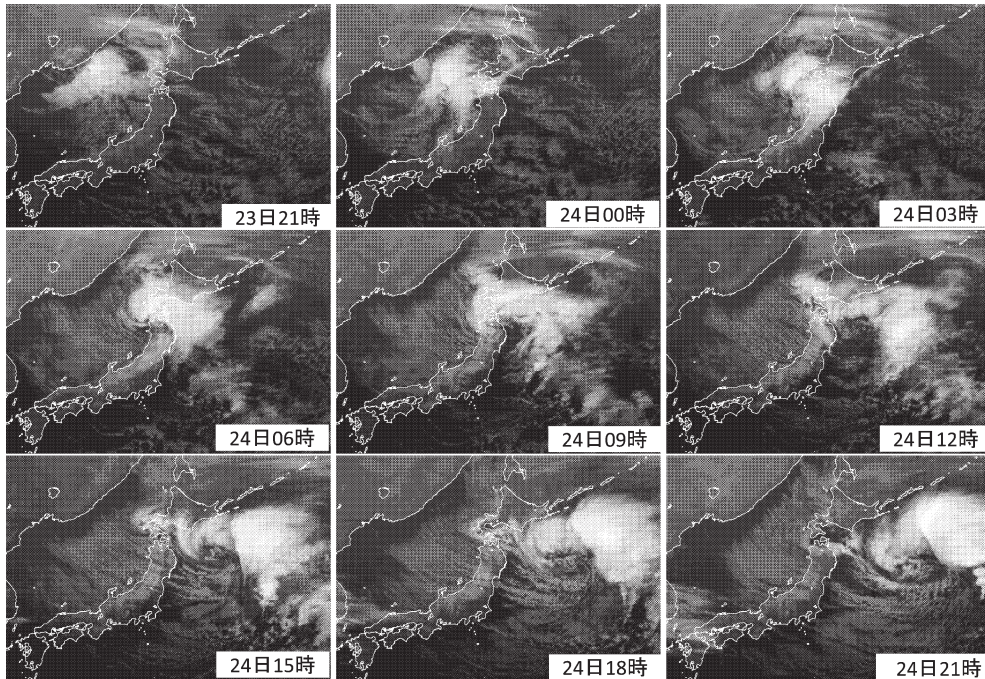
28日(木)西～東日本 高気圧圏内

高気圧に覆われ概ね晴れた九州～中国の最高気温は平年より6℃前後高く4月上旬並。北日本は低気圧の影響で雪や雨。鳥取市でタンポポ開花。長崎市でモンシロチョウ初見。



今月のひまわり画像—2013年2月

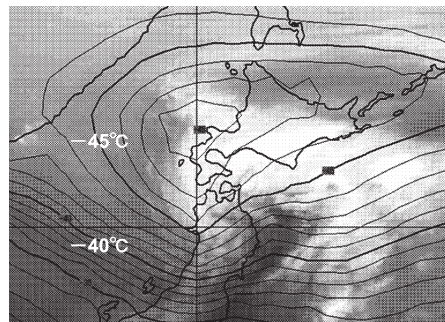
北日本を通過した第一級の寒気



第1図 2013年2月23日21時～24日21時（日本時間）にかけての3時間毎の赤外画像。

第1図は、2013年2月23日21時～24日21時（日本時間）の3時間毎の赤外画像である。この期間、今季最も強い寒気が北日本を通過した。寒気移流が顕著であった24日09時の500 hPaの温度は、高層観測によると札幌で -46.7°C 、秋田で -44.7°C であった。札幌で500 hPaの温度が -46°C 以下になるのは数年に1回程度である。第2図に同時刻の水蒸気画像、500 hPa面の温度を重ね合わせたが、東北北部から北海道は -45°C 以下の寒気に覆われ、北海道西海上の上層渦付近では -48°C 以下になっていることがわかる。また、水蒸気画像より青森県付近にも上層渦が把握できる。これらの上層渦に伴う発達した対流雲が北海道から秋田県にかけて存在しており、特に青森県西部付近では、 T_{BB} （等価黒体温度）が -50°C 近くまで達した対流雲域が発生し、衰弱することなく東進していた。

同期間、下層の寒気移流も顕著で（同時刻の850 hPaの温度は、札幌で -16.5°C 、秋田で -14.3°C ）、東北地方を中心に降雪量が多くなった。青森市酸ヶ湯の24日の日降雪量は32 cmで、日最深積雪は観測史上1位



第2図 24日09時の北日本付近の水蒸気画像、気象庁全球モデル（初期値同時刻）による500 hPa面の温度（ 1°C 毎）。

となる529 cmを記録した（26日には566 cmと記録を更新）。また、青森、秋田では最大瞬間風速が25 m/sを超える暴風雪となり、山形県内では山形新幹線が大雪で立ち往生し運休となる等交通への影響も出た。

（気象庁予報部予報課 河野麻由可）